

6月18日(木) So Good FMに生出演

11時00分からの1時間番組「しるしるそお市」に曾於市PR大使になってから初生出演しました。

Ponと曾於市との関わりやこれまでのレースのこと、コロナ禍での伝えたい思い、曾於市を盛り上げたい思いなどについてお話をさせていただきました。



同日15時00分から曾於市役所にてマスク贈呈式

曾於市長からイランへマスクを送る活動へのマスクを贈呈していただきました。

## イランへマスクを送る活動についてのPonの想い

イランの友達を、助けたい。

2018年10月、イランシルクロードウルトラマラソン230kmに出場しました。ともに走り抜いた仲間がいます。名前は、Hadiです。

イランはCOVID-19(コロナウイルス)が、本当に大変な状況です。僕の友達や家族を助けたい。「宝物のメダルと引き換えにしてもいいから、マスクをください。」彼はInstagramで訴えました。

インターネットで見ても、イランは今本当に深刻な状況です。Hadiのメダルは、これからも彼の宝物であってほしいから、無償でマスクを送りたいと考えました。

一生懸命、マスクを手作りしていますが、間に合いません。未使用のもので、手作りマスクや、政府から配布されてサイズが合わないなど、もしよかったら、ご協力いただけたらうれしいです。1枚からでも、ありがたいです。

海外への送付は高くかかるので、まとめて送ります。メール、電話でのご連絡をお待ちしています。

< [ponchan.iwamoto@gmail.com](mailto:ponchan.iwamoto@gmail.com) >

6月25日(木) 南日本新聞17面地域総合版に「イランにマスクを」の記事が掲載(右記事)

6月30日(火)「あいらびゅーFM」に電話生出演

18時00分からの番組「anniversary～大切な1日に花を添えて～」に出演し、イランへマスクを送る活動の紹介とマスク提供についての協力をお願いを中心にお話をさせていただきました。

世界各地の砂漠を走るウルトラマラソンランナーの岩元みささん(26)は、鹿児島市IIが、かつてレースで訪れたイランに新型コロナウイルス対策用のマスクを送ろうと活動中だ。3月から布マスクを手作りしているほか、賛同者の協力を呼び掛けている。

## 「イランにマスクを」

ウルトラマラソン  
岩元さん呼び掛け

2018年にイランマラソン(230km)に出場。このときに知り合ったイラン人の男性ランナーが会員制交流サイト(SNS)でマスク不足を訴えていることを知り、活動を始めた。中学時代を過ごした縁でPR大使を務める曾於市から18日、備蓄用2千

曾於市2000枚寄付

枚の寄付を受けた。発送は7月10日の予定。「マスクが手に入るなら、過去に獲得したメダルと交換してもいい」という書き込みから深刻さが伝わってきた。力になりたい」と話している。

岩元さんII 080(9357)0508。

(三宅太郎)



五位塚剛曾於市長(右)からマスク2000枚を受け取る岩元みささん

## SPECIAL INTERVIEW

鹿児島で活躍する市民の方に、  
“歯の健康”についてインタビューしました。

# スペシャル インタビュー

走る冒険家

岩元 みさ 氏  
(Ponちゃん)

Vol. 48



愛称は「Pon (ポン) ちゃん」。1993年7月4日生まれ。鹿児島市出身。2018年4月に「サハラマラソン」(237km)、同10月には日本人初の「イラン・シルクロード・ウルトラ・マラソン」(230km)、2019年4・5月には「ナミブレス」(251km)に出場。県内のマラソン大会にもゲストラナーとして参加。憧れはタレントの武井壮さん。「武井さんのようにチャレンジすることで、人に夢を与えられるような存在になるのが目標です」。

### 走る冒険家。素敵な肩書きですね。

フルマラソン(42.195km)を超える距離を走る「ウルトラマラソン」など、新しいことに挑戦することで、いろいろな方の勇気や元気のもとになればと思っています。

体を動かすことが大好きで、小学5年生から陸上を始め、バスケットボールや水泳などもしていました。何か大きなことに挑戦してみたいと思っていたときに、インターネットでウルトラマラソンの存在を知りました。それまでフルマラソンの経験はありましたが、もっと先の世界、未知の世界を覗いてみたいと思いました。

### 過酷とも言えるウルトラマラソン。出場してみて、いかがでしたか？

初めてのウルトラマラソンは世界一過酷と呼ばれている「サハラマラソン」でした。まずは資金と体力作りを兼ねて早朝の新聞配達を始めました。ウルトラマラソンは食糧や水、寝袋などを入れたザックを背負って走ります。新聞配達のとときはザックを背負って、走りながら配りました。

サハラ砂漠を舞台にしたレースは、砂丘やガレ場の丘など変化に富んでいます。高低差もあり、気温は昼間が40度、夜は5度になることもありました。毎日のゴールが設定され、最終ゴールまで一週間かかります。夜通し走る区間が一日だけ設定されていて、真っ暗闇のレースは

孤独と睡魔、寒さとの戦いでした。

ゴールした瞬間、全ての人への感謝の思いがあふれました。私だけではなく、みんなの力でゴールできたと強く感じました。その後も2つのウルトラマラソンに挑戦しました。

サハラマラソンから半年後に日本人初参加となる「イラン・シルクロード・ウルトラ・マラソン(ISRU)」、昨年は南アフリカの「ナミブマラソン」に出場しました。

ISRUでは最高気温が60度を超え、夜は道に迷ったこともあり。砂漠独特の足元の感覚、どこに向かっているのか分からない怖さは忘れられません。

イランではレース後、現地の人と友達になり、人の温かさに触れました。先入観で人を見るのではなく、人種や国籍を超えた本気の付き合いができたらいいなと思っています。

### レースへの挑戦は身体作りが資本ですね。歯を含めた健康の秘けつを教えてください。

食事で補えない栄養素はサプリを活用しています。レースでは勤務先の雑炊専門店「八幡」の雑炊をフリーズドライ(凍結乾燥)にして持っていきました。卵やチーズなど6種類の雑炊は、米の食感や甘さを残すため、もち米や麦を混ぜています。

すごく美味しくて、レース後の疲れ切った身体にとっても染み込みました。外国人にも雑炊を食べてもらい、大好評でした。

歯は矯正をした経験があるので、その大切さを実感しています。幼い頃は母が毎晩、歯磨きしてくれたことを今でもよく覚えています。

### これからの目標についてお聞かせください。

最大の目標は2022年末に開催予定の「南極アイスマラソン」(約320~480km)への出場です。これは2つ以上のウルトラマラソンの完走が参加条件ですが、今からわくわくしています。

私の経験を通して、いろいろな人にチャレンジする楽しさを知ってもらいたいと、学校や企業などでの講演活動にも力を入れています。

また、私の砂漠の体験を皆さんと共有できればと思い、昨年8月に吹上浜で「砂漠擬似体験マラソン」を主催しました。3km、7kmのコースに約100人が参加、遠くは関東からも来ていただきました。今年も8月2日に開催予定です。詳しくはホームページをご覧ください。

Ponちゃんのホームページ  
<https://pon-iwamoto.jimdofree.com/>